



ものを大切に、『丁寧な心』を持ち続けて

追手門学院小学校 学用品供養祭

追手門学院小学校(校長：東田 充司)では、2月22日(水)、本校伝統の行事である『学用品供養祭』を実施いたします。

学用品供養祭とは、普段使用している鉛筆に対して、ものに対する感謝の気持ちを込めて供養し、本校の教育目標でもある”敬愛の精神“を養うことを目的に行っている、昭和58年から続く伝統行事です。大阪府堺市にある本山妙國寺の貫首である岡部日聡様をはじめとする和尚様をお招きし、全児童で読経し、お世話になった学用品(鉛筆)、感謝の気持ちと願い事を書いた短冊を祭壇に奉納します。また、本校では2015年度運動場が人工芝したことで火を焚いて供養することはなくなりましたが、約870名の児童が奉納を行い、児童会長を先頭に全児童が読経します。普段何気なく使っているものに感謝を込めて供養することは、新しいものを丁寧に扱う気持ち、さらに丁寧な心が自然に身に付いていきます。



学用品供養祭の様子(昨年度)

報道関係の皆様におかれましては、学用品供養祭で手を合わせ、感謝の気持ちを込めて読経する児童たちの様子取材いただければ幸いです。

1. 名 称 追手門学院小学校 学用品供養祭
2. 日 時 平成29年2月22日 4時限 11:50~0:30
3. 場 所 追手門学院小学校 運動場 ※雨天時は110記念ホール
大阪市営地下鉄 谷町線「天満橋」、JR「大阪城北詰」より徒歩
4. 参加人数 全校児童 約870名 ※保護者等一般参加はなし

この資料の配付先：大阪教育記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 坂倉・塩田